



2016年11月9日
東武鉄道株式会社
株式会社NTTドコモ

東武鉄道とドコモが「5Gトライアルサイト」での5Gサービス創出に向けた協力を合意
～東京スカイツリー®等の東武グループ施設において5Gを活用したVR観光案内等をトライアル提供～

東武鉄道株式会社(本社:東京都墨田区、以下東武鉄道)と株式会社NTTドコモ(本社:東京都千代田区、以下ドコモ)は、ドコモが2020年の商用サービスの開始をめざしている第5世代移動通信方式(以下5G)において、2017年5月以降、5Gを活用した両社のサービス領域の拡大につながる新しいサービス・コンテンツ創出に向けた共同実証実験を東京スカイツリーや東京ソラマチ®等の東武グループ施設でおこなっていくことに本日合意いたしました。

東武鉄道とドコモはまず、世界一高い自立式電波塔である東京スカイツリーを中心としたエリアにおいて、5G環境を構築し、5Gネットワーク上で、新しく開発するVR(バーチャル・リアリティ)等を活用した観光案内コンテンツやライブ配信サービスのトライアル版を提供し、5Gを活用した新たなサービスを実際に体感できる場をご用意する予定です。

本共同実証実験において、ドコモは実証フィールドとなる東武グループ施設における5G環境の構築をおこない、東武鉄道は交通・観光各施設を利用するお客さまへの新たな付加価値を創出すべく、ドコモと共同で5Gを活用した新たなサービス・コンテンツを開発し、5Gを活用したサービスの有効性を両社で確認いたします。

本共同実証実験は、ドコモが構築する「5Gトライアルサイト」にておこなうものです。

「5Gトライアルサイト」とは、5Gの商用サービス創出に向けて、5Gの特長である超高速・大容量通信、低遅延、超多数の端末接続を活用した新たなサービス・コンテンツをパートナー企業と幅広く連携して開発し、有望なサービスについて一般のお客さまにも体験いただけるものです。

今回の共同実証実験を通じ、両社は国内外から注目を集める東京スカイツリータウン®️一帯を最先端技術のショーケース(見本市)として位置づけ、新たな5Gサービスの創出を通して、日本の最先端技術や文化の発信拠点となることをめざします。

東武鉄道とドコモは、2020年に向け5Gのネットワーク構築やサービス創出などの先端技術の発展に貢献してまいります。

東武鉄道とドコモの共同実証実験概要

1. 実証実験内容の想定

<5Gサービス・コンテンツ>

VR(バーチャル・リアリティ)・AR(拡張現実)等を活用する観光案内コンテンツや大型モニターでのライブ映像配信、観光地での移動をもっと楽しくする鉄道やバスへの観光情報のリアルタイム配信などを予定しています。

<5Gネットワーク>

実証フィールドにおいて、28GHz帯の周波数帯を利用し、最大通信速度5Gbps以上をサポートする5Gネットワークを構築し、5G時代の実使用環境を想定した無線通信実験を実施。今後は28GHzだけでなく、4.5GHz帯でも実験をおこなっていくことを計画しています。

2. 実証実験開始時期(予定)

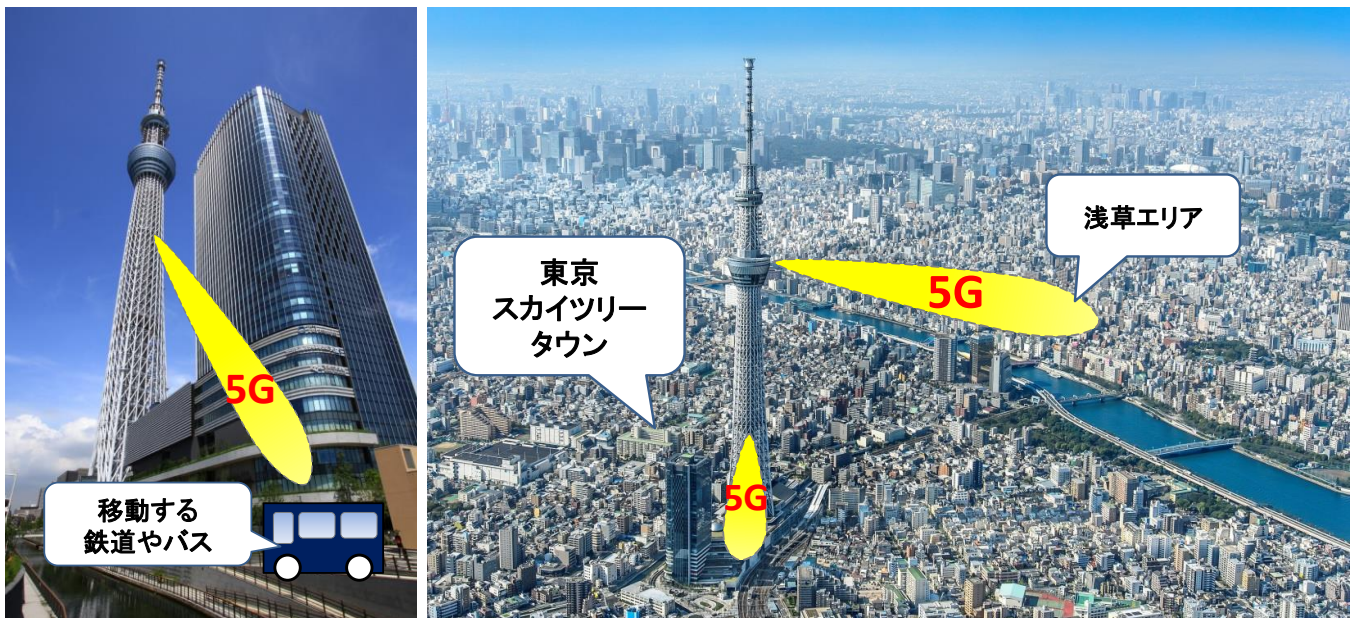
2017年5月以降

3. 実証フィールド(予定)

- ・東京スカイツリー®、東京ソラマチ®など東京スカイツリータウン®一帯(東京都墨田区)
- ・浅草駅ビル「EKIMISE(エキミセ)」(東京都台東区)
- ・路線バス:スカイツリーシャトル®(上野・浅草線等)の一部区間
- ・鉄道:東武スカイツリーラインの一部区間、日光エリア等

4. 実証実験イメージ

東京スカイツリータウン周辺エリアでの5G環境の構築イメージ



©TOKYO-SKYTREE

なお、本共同実証実験の概要は、2016年11月17日(木)から18日(金)までドコモR&Dセンター(YRP)にて開催する「ドコモR&Dオープンハウス」にて出展予定です。

各社概要

東武鉄道	
会社名	東武鉄道株式会社
代表者	取締役社長 根津 嘉澄
所在地	東京都墨田区押上二丁目18番12号
資本金	1,021億3,597万1,747円(2016年3月末時点)
設立	1897年11月1日
従業員数	3,469人(当社グループ19,770名)(2016年3月末時点)
事業内容	・鉄道事業 ・不動産事業 ・レジャー事業

ドコモ	
会社名	株式会社 NTTドコモ
代表者	代表取締役社長 吉澤 和弘
所在地	東京都千代田区永田町2-11-1山王パークタワー
資本金	9,496億80百万円(2016年3月31日時点)
営業開始	1992年7月1日
従業員数	7,616名(当社グループ26,129名)(2016年3月末時点)
事業内容	・モバイル通信事業 ・スマートライフ事業